

計画期間及び総量規制の目標値の 見直しについて

伊丹市

令和4年2月

1. 総量規制の目標値（数値目標）の考え方について

現在の数値目標

■ 数値目標（建物施設）

○市が保有する施設の総延床面積を、平成42年度までに**10%以上削減**します。
平成22年度：59.6万㎡ ⇒ **平成42年**：53.6万㎡（6万㎡減）
（2010年） ⇒ **（2030年）**

・数値目標の考え方

1人当たりの負担をこれ以上増やさないためには、維持管理コストの効率化だけでなく、人口減少に見合った分だけ施設の総量（延床面積）を減らす必要 ⇒ 「総人口1人当たりの延床面積」をひとつの目安として、数値目標を設定

表 5-1 人口と延床面積の推移

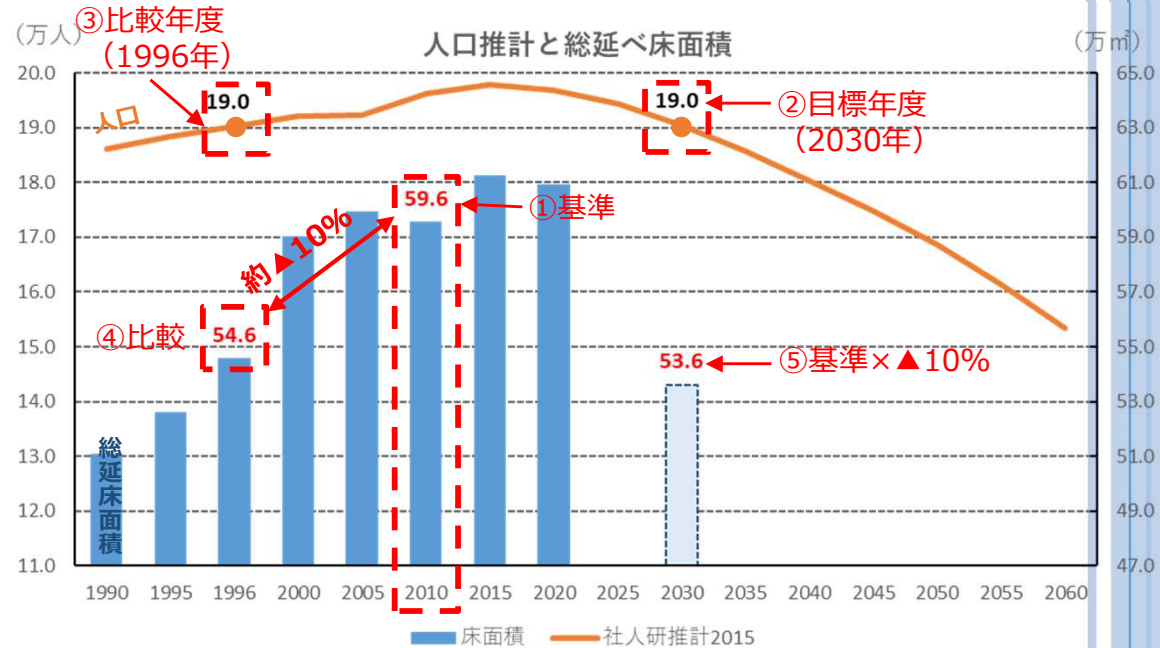
項目	平成8年	平成22年	平成42年	H42 変化率		
				H8 比	H22 比	
人口	総人口	190,194人	196,127人	190,249人	0.0%	-3.0%
	高齢者人口(65歳以上)	20,736人	39,275人	52,051人	+151%	+32.5%
	生産年齢人口(15-64歳)	138,819人	127,087人	115,948人	-16.5%	-8.8%
	比率(高齢者:生産年齢)	1:6.7	1:3.2	1:2.2	-	-
延床面積	総面積	54.6万㎡	59.6万㎡	-	-	-
	総人口1人当たり	2.87㎡/人	3.04㎡/人	3.13㎡/人	+9.1%	+3.0%
	生産年齢人口1人当たり	3.93㎡/人	4.68㎡/人	5.14㎡/人	+30.8%	+9.8%

出典) 将来人口: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(平成25年3月推計)

平成42年と総人口が近似である平成8年と比較すると、総人口1人当たりの延床面積は9.1%の増加となっています。このことを一つの目安として、本市が所有する施設総量（延床面積）を、平成42年度までに10%以上削減することを目標に掲げます。

出典：伊丹市公共施設等総合管理計画（平成27年3月）

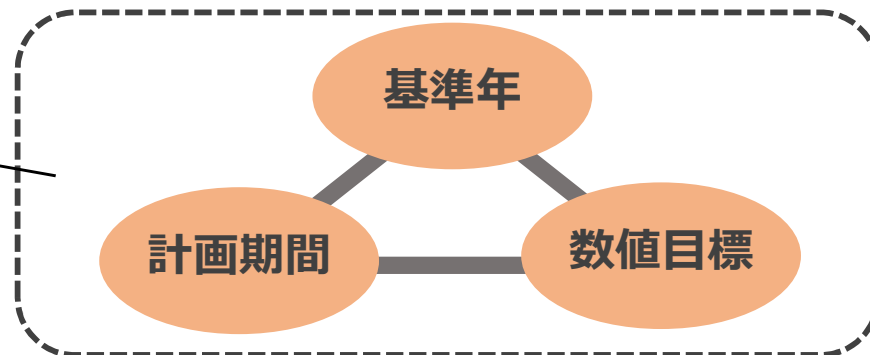
総合管理計画における数値目標の考え方



『基準年2010年・計画期間2030年まで・数値目標△10%』が計画の基本的枠組み
 ⇒今回の見直しにおいても、基本的枠組みは維持すべき

2. 目標設定にかかる考え方（前回との比較）

本市における
総合管理計画の
基本的枠組み



⇒今回の見直しにおいても、
基本的枠組みは継続

前回（計画策定時）の検討経過

- ①**基準年（2010（H22）年）**
当時把握していた唯一の情報がH22
- ②**計画期間（2030年まで）**
次期総合計画の最終年（当時の見込み）を
目標年とした
- ③**数値目標（床面積10%以上削減）**
2030年までの計画としたうえでの目標設定
⇒2030年の推計人口と同水準の人口であったH8
の人口あたり床面積をキーとして、目標設定

見直し

今回（中間見直し）の考え方

- ①**基準年（直近：2020（R2）年）**
着実な取組により、将来負担は軽減
床面積は増加しているが、財政の健全性は維持
- ②**数値目標（床面積10%以上削減）**
「10%」は広く市民に浸透
取組の一貫性・継続性、個別事業の整合性
- ③**計画期間**
2020年比で総人口が10%減少するタイミング

維持

見直し

『**基準年・計画期間・数値目標**』の基本的枠組みは継続

⇒『**基準年2020年（直近）、数値目標△10%、計画期間は総人口が10%減少するタイミングまで**』としてはどうか

3. 計画期間及び総量規制の目標値の見直しについて（修正案）

【数値目標（床面積10%以上削減）について】

- ・ 出前講座等を通じた啓発（令和元年度までに61回開催、のべ1,295人参加）⇒市民に浸透
- ・ 数値目標の変更は、個別事業の不整合・不公平を生じさせる可能性⇒取組の一貫性・整合性を保つ必要

⇒数値目標（目標年までに床面積10%以上削減）は継続

【基準年・計画期間（目標年）について】

- ・ 床面積と相関関係が高いのは人口⇒直近の数値を基準に、引き続き「人口・床面積」をキーとした目標設定をすべき
- ・ 基準となる直近年度は2020年度、2020年比で人口が約10%減少するのは、2040年頃となる見込み

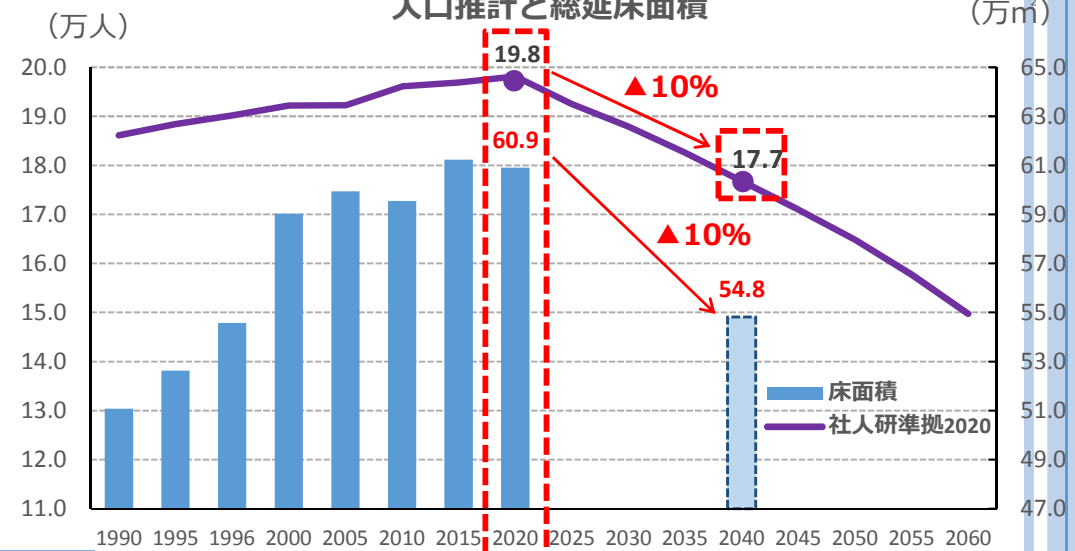
⇒基準年を2020（R2）年、計画期間を2040（R22）年まで、に見直し

人口推移と延床面積

項目		令和2年 (2020年)	令和22年 (2040年)	変化率 (R2⇒R22)
人口	総人口	198,138人	176,810人	△10.8%
	高齢者人口（65歳以上）	51,478人	60,393人	+17.3%
	生産年齢人口（15-64歳）	119,501人	95,868人	△19.8%
	比率（高齢者：生産年齢）	1：2.3	1：1.6	—
延床面積	総面積	60.9万㎡	—	—
	総人口1人当たり	3.07㎡/人	3.44㎡/人	+12.1%
	生産年齢1人当たり	5.09㎡/人	6.35㎡/人	+24.7%

(R2人口は国勢調査確報値、R22人口は社人研準拠の推計値)

人口推計と総延床面積



見直し後の 数値目標

■ 数値目標（建物施設）

○市が保有する施設の総延床面積を、令和22年度までに10%以上削減します。

令和2年度：60.9万㎡ ⇒ 令和22年度：54.8万㎡（6.1万㎡減）
(2020年) (2040年)